

ファミリー



小野市立河合中学校 小野市三和町 983-2

学校評価と分析について

小野市立河合中学校長 阿尾 剛

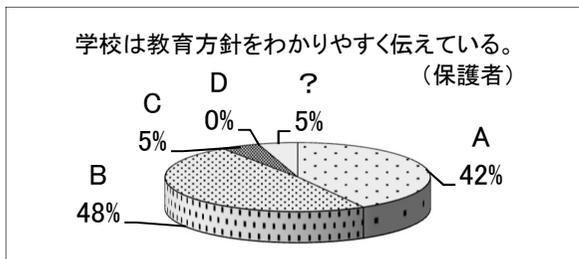
平成29年度が終わろうとしています。保護者の皆様とともに歩んできた1年間でした。多くのご協力、ご支援ありがとうございました。

さて、学校教育活動に関するアンケートの回答をもとに、集計結果を分析し、今後の方向性について以下のように検討しました。

アンケート結果の見方について

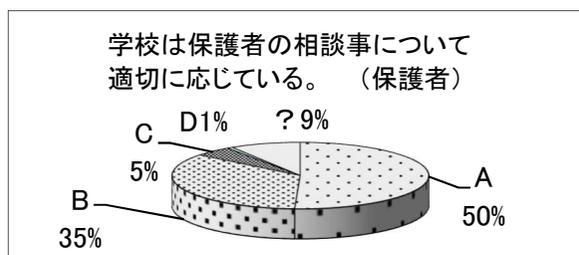
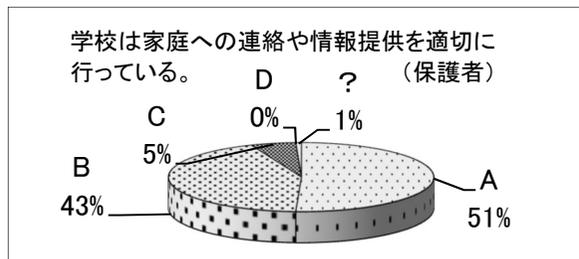
アンケートは6～9年生の保護者と児童生徒を対象とし、各質問内容について、「A=そう思う」、「B=ややそう思う」、「C=あまりそう思わない」、「D=そう思わない」、「?=判断できない」の選択方式で実施しました。分析は「A・B」を肯定的な評価と捉え、類似する質問ごとに総括し、主だった内容について取りまとめています。

1 家庭・地域への情報提供と連携

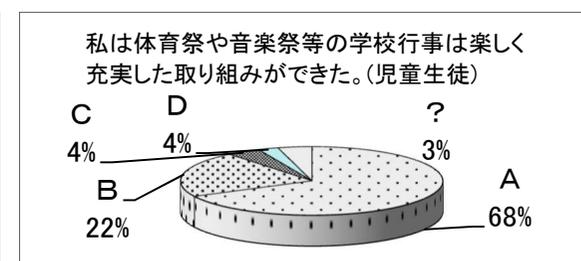
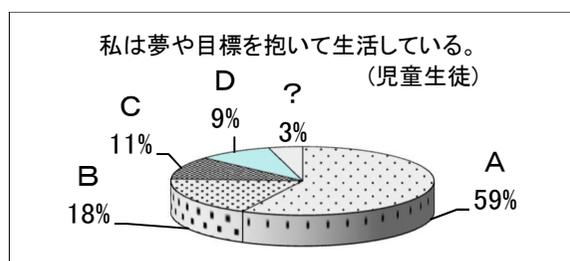
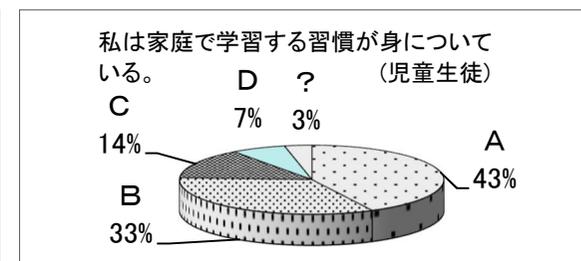
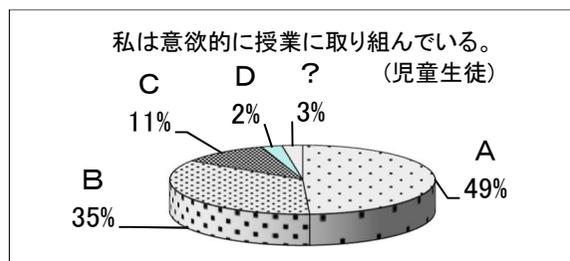
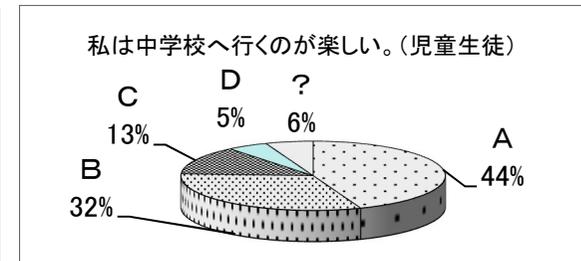
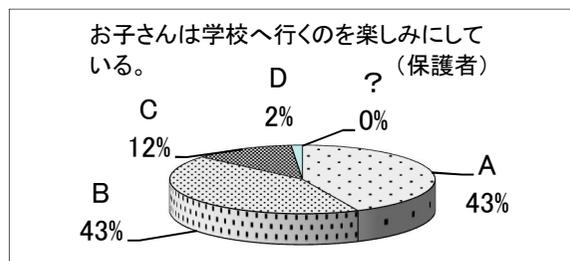


「教育方針の伝達」「家庭への連絡や情報提供を適切に行っている」「保護者の相談事について」という設問に対して、8割以上の肯定的評価をいただいています。学校だより『ファミリー』や学年通信の定期的発行や「マメール」による情報提供など、これからも継続して発信していきます。

保護者の方々からの相談事については、学年を中心に連携を取り、適切に対処しております。学校と保護者の良好な関係構築は、児童生徒の健やかな成長に不可欠な要素です。これからも情報提供や家庭との連絡を大切にし、本校教育にご理解、ご協力を得られるよう取り組んでいきます。



2 学校生活の充実度



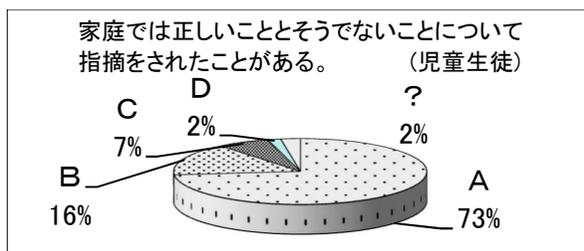
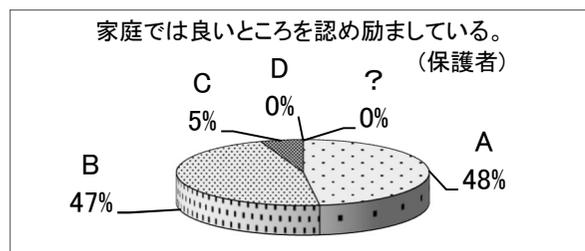
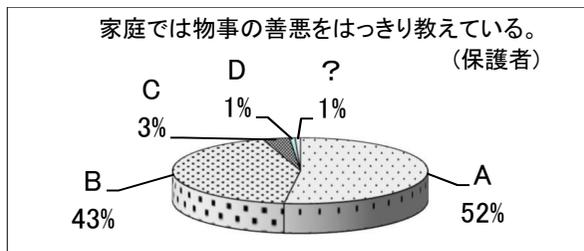
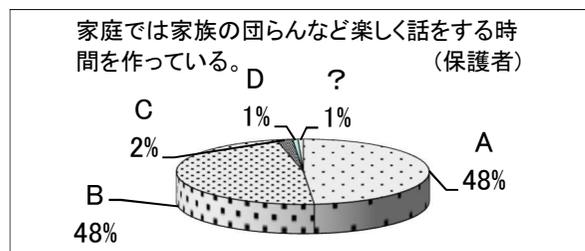
「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている(保護者)」や「私は学校へ行くのが楽しい(児童生徒)」の項目について、8割前後の方々や児童生徒が肯定的に捉えているのが分かります。今後もより一層、保護者の方のご意見や児童生徒の声に耳を傾け、学校という場が学習や学級活動、友とのふれあいや部活動などで様々なことを学び、成長する場にしていきたいと思っています。

「授業への取り組み」は、8割以上の児童生徒が意欲的に取り組んでいると回答しています。授業参観等でご覧いただいているように、毎日の授業においても、時には落ち着いて、時には活発な活動ができ、学びたいという気持ちを感じることができています。一方、「家庭学習の習慣」では肯定的評価が8割に届かず、C・D評価も2割程度の児童生徒がいるなど不安要素も残しています。授業と家庭学習の一体化が、学力向上や生きる力につながることを継続して伝えていきます。

「学校行事への取り組み」については、9割の児童生徒が意欲的だったと回答しています。3年目となった今年度の小中合同体育祭では、小学校舎の児童会と中学校舎の児童生徒会が中心となり、練習段階や様々な演技において主体的な活動を多く取り入れました。上級生が下級生を思いやり優しい気持ちで接する姿や、下級生が上級生の各団を牽引する姿に憧れを持つなど、自尊感情を育みながら1～9年生のつながりを大切にしている行事になっています。これからも河合小中学校の主要な行事として、進化発展させていきたいと思っています。

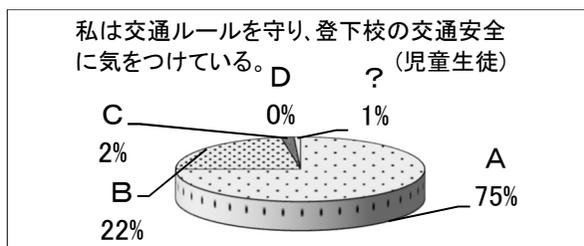
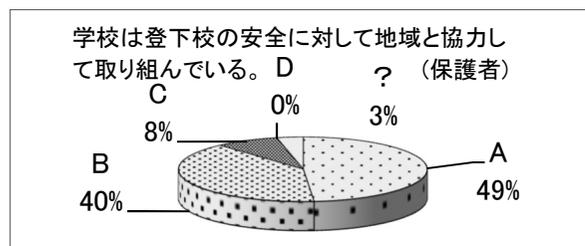
「夢や目標を抱いた生活」においても肯定的評価が8割に満たない結果でした。6年生の発見旅行や7年生の福祉体験活動 スキー教室、8年生のトライやるや9年生の進路学習など、将来を見据えた多くの活動を学校生活の中に織り交ぜながら、児童生徒の成長をあたたく見守っていききたいと思います。

3 家族との関わり・家庭生活

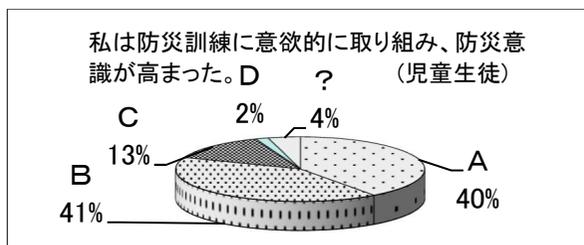


上記の集計結果からも、本校の児童生徒はご家庭での温かいまなざしを受けながら、安心して毎日を過ごしていることがうかがえます。このようなご家庭の中でお子様の良いところを認めつつ、一方で善悪の判断について指摘を受けたと回答している児童生徒が 9 割近くいることから、ご家庭のあるべき姿を感じ、ありがたく思っております。各家庭でのご指導が行き届いているからこそ、子どもたちの健やかな成長につながっているのだと思います。学校側としても、引き続き安心できる集団づくりを進めていきます。

4 安全な登下校、防災訓練・防災意識の高揚

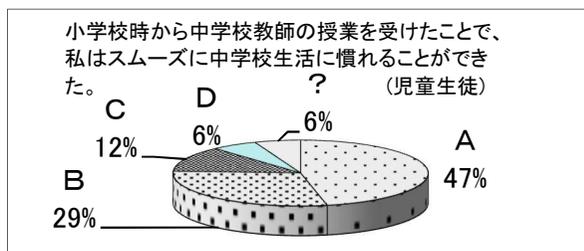
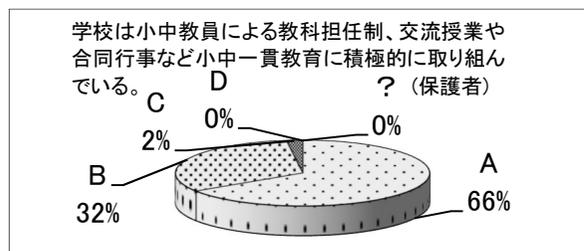


「交通ルールの遵守、安全な登下校(児童生徒)」の項目は、9 割以上の児童生徒が肯定的に捉えています。また「地域と協力しての登下校の安全(保護者)」の項目は、9 割近くの方から肯定的評価をいただいております。保護者の方々や地域の子ども見守り隊の方々、いつも登下校時に声をかけて下さる地域の方々によって児童生徒の安全な登下校が守られています。一方で、自転車の乗り方など交通マナーについて地域の方からご指摘を受けることもあります。自分の命を守るという観点からも引き続きしっかりと指導していきます。



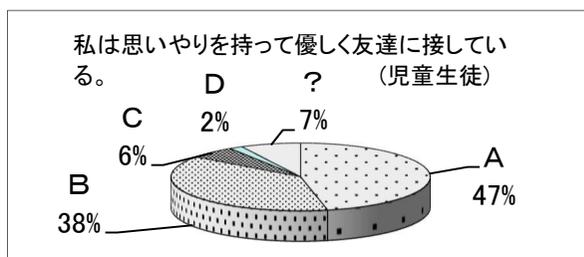
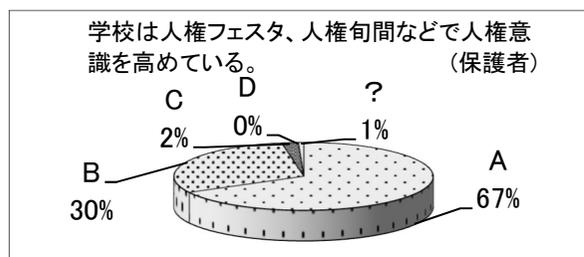
「防災訓練・防災意識」については、8 割以上の児童生徒が高まったと回答しています。今年度は事前に知らせずに行うなど、より緊張感を持って取り組むよう工夫をしました。今後いつ起こるか分からない様々な災害に対する防災意識の高揚を図っていきます。

5 小中一貫教育の推進



平成 16 年度からスタートした小中連携教育。昨年度からは 5・4 制の小中一貫教育として本格実施しています。「小中教員による教科担任制や交流授業、行事などに積極的に取り組んでいる」という項目に対して、9 割以上の方から肯定的評価をいただいておりますことは、河合小中一貫教育にご理解をいただいているものと考え大変ありがたく思っております。これからも児童生徒の発達段階に応じたきめ細やかな指導を教職員全員が心がけ、適切な指導に努めてまいります。また、保護者の皆様や小中一貫教育運営協議会、地域の方々からも一貫教育に関する貴重なご意見をいただいております。それらを参考にさせていただきながら、河合小中一貫教育をいっそう推進していきたいと考えています。

6 人権・心の教育



「人権フェスタ、人権旬間などで人権意識を高めている(保護者)」「思いやりを持って優しく友達に接している(児童生徒)」の項目について、いずれも 8 割以上の肯定的回答がありました。特に人権劇を中心とした人権フェスタでは、各学年の思いが詰まったものを披露し、人権意識の高揚を感じています。また友達を大切に、優しく声をかけたり関わったりしている姿は日常生活でもよく見られ、本校児童生徒の豊かな心を感じることができます。これからも、道徳学習や様々な行事を通して心の教育を進めていきます。

7 総括

保護者の皆様には、お忙しいところ学校評価アンケートに回答していただきありがとうございました。このアンケートすべての項目に対して教職員で検証を行いました。本校の児童生徒は、家庭や地域の方々を支えられ落ち着いた学校生活を送ることができていることを実感しました。そして学習を中心に、仲間とともに学校生活を前向きに取り組んでいる姿を再認識しました。一方、保護者の皆様から来年度に向けた建設的で貴重なご意見もいただきました。肯定的評価はさらに継続できるよう、課題となる項目は原因を追究し解決に向け努力してまいります。

これからも河合の子ども達の良さを大切にしながら、さらに伸ばしていけるよう力を尽くしていきます。今後とも本校教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

